

春到来にはまだ時間のかかりそうな北海道です。先月、3年振りに第73回『さっぽろ雪まつり』が開催されました。

2月4日～2月11日まで例年に近い形で開催され、大通会場では1丁目から10丁目の間に大小さまざまな雪像が展示されていました。残念ながら飲食関連の出店は無かったため、少し寂しい感じはありました。

大雪像のうちの1つ『豊平館』は、北海道開拓の礎を築いた開拓使直営の洋風ホテルとして1880年11月に建築されました。現存する木造ホテルとしては我が国最古の建物であり、明治・大正・昭和と3代にわたり天皇家が訪れた建物です。

もう一つ大人気となっていた大雪像は、北海道日本ハムファイターズの新庄監督と、今年の3月にオープンした世界初の野球場と融合した総合エンターテインメントを提供する話題の施設『北海道ボールパークFビレッジ』のコラボ大雪像です。出来るだけ早く、こちらの施設も紹介させて頂きますのでご期待下さい。

札幌営業所(所長:利川 光浩)

皆様いかがお過ごしでしょうか。先回までは続けて食べ物のお話を紹介しましたが、今回は音楽の話題、愛知県岡崎市にある『内田修ジャズコレクション展示室』をご紹介します。

まずは内田修?誰?となるとと思います。内田修は岡崎市出身の外科医で、ミュージシャンでも評論家でもありません。ですが日本のジャズを陰で支援する活動をしてきたジャズ愛好家で、渡辺貞夫、日野皓正なども親しく交流があったようです。

この展示室では内田氏が1993年に岡崎市に寄贈したレコード、テープ、楽器、オーディオ、書籍などを展示しています。私もジャズに詳しいわけではありませんが、レコードをはじめ価値が高そうなものが多い印象です。資料の中にはアメリカのものでジャズから派生する音楽の系譜を表現してある細かな表などもあります。

またラウンジではジャズを聴きながら本を読んだり、おしゃべりを楽しんだりしながらくつろげる空間になっており、ラウンジの隣にはジャズをじっくりと試聴できるコーナーも設置されています。(ジャズの雰囲気味わうだけでも良いのかなと思います。)

ジャズの事があまりわからない初心者の方でも入りやすい展示室でしたので、皆様も一度訪れてみてはいかがでしょうか。

名古屋営業所(所長:高橋 鉄夫)

KOYORAD

世界の拠点から
-From the base in the world-

VOL.253
Mar.2023
KOYORAD



今はまだ昼と夜の寒暖差はありますが、ぼかぼか陽気に春を感じる季節となってきました。今年の花粉は猛烈に飛びまくっているせいか、花粉症歴25年というキャリアをもってしてもうまくかわし切れず、直撃して撃沈中ですがなんとか打ち勝ちたいと思います。皆様もどうぞ花粉に負けないよう乗り越えて下さい。

さて、弊社正面門の桜が満開となりました。毎年なのですが、この桜はソメイヨシノとは違うので少し早めに満開となります。また、今年は例年よりも早く咲いた気がしますが、そのぶん散るのも早く、新緑にも早く切り替わります。桜というのは和名ですが、英名だとCherry blossom(チェリーブLOSSOM)です。桜全体の花言葉は『精神美・優雅な女性・純潔』。そして弊社正面門に咲く桜の花言葉は『思いを託します・純潔』です。

桜といえば春、そして入学式に卒業式、何度も何度も桜の前で親子・家族・恋人・友人などと写真を撮ってきました。満開の桜と一緒に撮られた沢山の思い出が詰まったアルバムを手に、純米酒で今宵一献してみようかと思えます。満開の桜が見頃のちょうどいい季節、まだまだ寒い時期ですので、くれぐれもどうぞご自愛ください。

東日本物流センター東日本営業本部(センター長:木下 敦裕)

今や日本酒は世界でも認められるお酒になっております。そんな中、清酒の発祥地は諸説ありますが、兵庫県が挙げられます。兵庫でお酒と言うと神戸の灘五郷が有名ですが、なんと伊丹市が発祥地とされています。

伊丹には酒蔵通りがあるほど日本酒に縁が深い地域でこちらをぶらっと歩いてみました。街中にある酒蔵ですが年季の入った雰囲気の良い佇まい、看板を見ると清酒白雪で有名な小西酒造でした。ここはレストランや直営ショップも併設。清酒はもちろんの事、お菓子やグラス、ぐい飲みなど様々な品物が販売されています。ちょっとしたお酒と『酒蒸しきんつば』を購入。このきんつば、文字通り、開封しただけでお酒の良い香りが漂って中々の美味。

続いてちょっと歩くと伊丹老松酒造があります。御免酒老松はラベルの通り、江戸幕府御用達のお酒で、併設されている直営店で買うことができます。ここでも1本購入し、表に出ると広場に面した壁に数人並んでいました。よく見ると『老松丹水』と書かれた蛇口が…。ここでは清酒作りに使う井戸水を汲んで蛇口から無料提供されています。私も2ℓペットボトルで水を頂きました。水は口当たりの非常に良い軟水で、水のみで飲んでも美味しいと感じられる良い水でした。

大阪営業所(所長:藤谷 弘行)

花粉が舞う非常にづらい時期となりました。特に今年は全国的に花粉が多いそうです。皆様どうかご自愛ください。

さて、今回は長崎県の老舗、グルメと調べると何かと検索結果に出てくるお店をご紹介します。創業150年の伝統ある和食店『吉宗本店(よっそうほんてん)』です。こちらのお店の名物は『巨大茶碗蒸し』。以前に頂きもので食べたことが忘れられず、とある休日に行ってきました。

営業が11時から、到着時間は15分を過ぎたころでしたが、休日ということもあってかお店の前には20人くらいの行列ができていました。思った以上に回転は早く、20分ほどでスタッフさんが木札を鳴らしてお迎えしてくれました。

店内入口は壁にかけられた提灯、赤じゅうたん、番台と『The・和』という雰囲気です。注文したのは茶碗蒸しと蒸し寿司のセットで、待つこと約10分。運ばれてきた茶碗蒸しは、私が思う通常サイズに比べて約2~3倍ほどあり、かなりのジャンボサイズです。アツアツの茶碗蒸しは出汁が上品、中の具材は、かまぼこ、銀杏、あなご、エビ、鶏肉などかなりの具沢山の、脇役ではなく立派なメイン料理です(当たり前ですが…笑)。蒸し寿司も酢飯に錦糸卵、桜でんぶ、アナゴのそぼろがのっており、茶碗蒸しとの相性も抜群で、大変美味しく頂きました。

帰りには、日本三大橋の一つである『眼鏡橋』、『尾曲がり猫神社』、『平和記念公園』を観光し、大変満足できた一日でした。

福岡営業所・沖縄配送センター(所長:江頭 慎司)

イスラム教の信者たちは、3月22日から30日間ほどラマダンの断食をします。ご存じの通り、断食中には食べること、飲むこと、煙草を吸うことなどが禁止されています。断食時間は、大体朝5時から夕方18時までの合計13時間です。

朝4時か4時半ごろ起きて、断食前の食事をとり、5時に断食を始めます。断食明けの1~2時間前が一番苦しい時間ですが、一番楽しい時間とも言われています。一番苦しい時間はお腹がすいていて、喉も乾いています。ただ1~2時間前は、断食明けのためにお母さんたちはケーキや飲み物、果物などのいろいろな食べ物を作ったり、買ったりしています。

断食明けの食事で全部の食べ物などをいっぺんに食べようとしたところ、残念ながら少しだけ食べてすぐお腹がいっぱいになってしまいました。お腹にやさしい安全な断食明けの食事方法は、甘くて温かい飲み物、甘いケーキ、果物などを食べ、30分~1時間後に夕食を食べる形です。

断食明け後は大体19時~20時半までそれぞれのモスクでお祈りします。20時半過ぎに家へ戻り、スナックや果物などを少し食べ、イスラム教の聖書を30分か1時間ほど読んだりしています。

もちろん昼の断食中でも聖書を読んでいます。断食の30日間に約604ページの聖書を全部読み終わります。

KJI(インドネシア)(工場長: S.Akhyar)

~60年ぶりに~

どっちを向いても人、人、人。十数年前に私が初めて上海の繁華街を歩いた時はその人の多さに圧倒され、14億の人口大国を目の当たりにする思いでした。中国では建国後、人口が急増しました。その後食料不足の懸念から1979年より、いわゆる『一人っ子政策』が実施されました。2015年に廃止されるまで、一定の例外はあるものの一組の夫婦で子供は一人のみ、という政策が続いた結果、子育てやライフスタイルに対する考え方も次第に変化していきました。

1987年当時は新生児の数が2,500万人を数えましたが、2021年にはその半以下にまで減少しました。2022年は60年ぶりに人口減少に転じており、中国も高齢化社会に入ってきました。KHEの社員でも2人以上の子供をもつ人は少なくありませんが、一人っ子政策の撤廃後も少子化が加速しており、出生数が一気に上昇に転じるという状況ではないようです。不動産価格の上昇、養育費の上昇などに伴い『子供は一人で十分』と考える家庭も増えています。

日本でも少子高齢化は深刻な問題ですが、中国もこの先、かなりのスピードでの人口ピラミッドの高齢化が懸念されています。中国では経済、社会の急速かつダイナミックな変化を常に感じさせられますが、人口構成も静かに、しかし、大きく変化しつつあるようです。

KHE(中国・蘇州)(総経理: 山本 博史)

まだまだ日本は寒い様ですがいかがお過ごしでしょうか?ここカリフォルニアも先月同様に雨が多く、気温も例年と比べると低いようです。日が出ると日中は20℃くらいまで上がるのですが、朝晩は10℃以下になるほど寒暖差が激しいです。昼はTシャツで朝晩はダウンジャケットが必要みたいな感じです。アメリカはスーパーボウルも終わり、これから春を迎えるシーズンになります。

さて今回はあまり嬉しくない流行り(?)をご紹介させていただきます。皆様、車のパーツの触媒コンバーター(キャタリティック・コンバーター)をご存知でしょうか?触媒コンバーターとは車両の排気システムの一部で、排ガス浄化装置の事です。最近アメリカではこの装置の盗難が問題になっています。特に日本車などの汚れの少ないハイブリッド車の被害が多いです。

この装置は車の最下部のマフラー付近に装着されていて比較的簡単に取り外すことができます。では何故この部品が狙われているのかというと、このパーツには高価な金属(ロジウム、パラジウム、プラチナなどの希少性の高いレアメタル)が使用されているためです。リサイクル市場では触媒コンバーターが\$30ドルから\$2,500ドル以上の価格で取引されているようで、盗難防止のためプロテクターを付けたり、消防署では持ち主の名前をエッジング(彫刻)のサービスを提供しています。

アメリカではコロナ禍は終わりましたが、その影響は残っており、物価は上昇し続けていて治安自体もあまりよくない様です。早く景気も回復して欲しいですね。そして今後は楽しい話題を提供できる事を願っています。

KCS(アメリカ)(COO: 板垣 仁志)

環境への配慮はどこでも耳にする問題です。地球を救うために力を合わせることで、この先も地球で生きていけます。

ヨーロッパは環境問題を解決するためにいくつかの措置を講じています。例えばボトル入り飲料を購入するごとに、25ユーロの追加料金がかかります。そして空のボトルをスーパーマーケットに返却すれば、返金を受けることができます。人々にプラスチックのリサイクルをより意識させる素晴らしいプログラムです。

最近出張した際、首都アムステルダムスキポール空港で1つのドラム缶を見つけました。これは返金目的の収集ではなく、チャリティー機能を果たしています。

このドラム缶に空のボトルを捨てると、払い戻しのお金が慈善団体に寄付される仕組みになっています。ボトルが1本か2本しかない場合や時間の無い時はわざわざ返金を行わないので、これは一石二鳥な良い考えだと思います。

このドラム缶は環境問題を解決するだけでなく、必要とする人々に寄付をすることができます。スキポールの素晴らしい取り組みです!

KIO(シンガポール)(E.Wong)

多くの多国籍企業は昨年、数十億ドルの利益を上げました。同時に、物価上昇により、ますます多くの世帯が貧困に陥っています。中央計画局(CPB)の推定によると、最低所得層が一時手当無しでやりくりしなければならない場合、来年には子供を含む995,000人のオランダ人が貧困に陥るそうです。

現在、オランダ人の4.7%が貧困の中で暮らしていますが、来年には5.8%に上昇する予想です。こうした貧困層の増加は、地方自治体からのエネルギー手当などの支給が終了した結果です。政府は、貧困の中で暮らす子供の数を半減させたいと考えています。しかし、現状では貧困層は増加し続けるでしょう。

購買力は高まっていますが、全ての人にあてはまる訳ではありません。CPBは、2023年と2024年に5%の賃金上昇を予想しています。今年の購買力はわずかに低下しますが、賃金の上昇により、2024年には再び2%増加するでしょう。

ただし、このキャッチアップは全ての所得層に及ぶわけではありません。たとえば、ガスと電気のコストを考えてみましょう。これは、所得の低い世帯にとって負担となります。

経済成長率は、今年は1.6%、2024年は1.4%と、ややプラスにとどまっています。CPBはオランダ経済の回復力について肯定的ですが、これらの成長率は、経済が成長した近年よりもはるかに低くなっています。

しかし、厳しい冬が来た場合、エネルギー価格に多大な影響を与えるという不確実性もあります。その際にはガス価格は再び昨秋の水準まで上昇する可能性があり、2024年のインフレ率は3%には達せず、6%に近づくと見られます。したがって、購買力は2024年に0.8%低下することになるでしょう。

KIO(オランダ)(Marvin de Laat)